

# パチンコホール業の エネルギー使用実態について

2018年12月14日

全日本遊技事業協同組合連合会  
一般社団法人 日本遊技関連事業協会  
一般社団法人 日本遊技産業経営者同友会  
一般社団法人 余暇環境整備推進協議会  
一般社団法人 パチンコ・チェーンストア協会

# 1. パチンコホール関係団体の概要

## 全日本遊技事業協同組合連合会（略称：全日遊連）

### 1. 設立

1989年（平成元年）5月20日

### 2. 目的

会員及びその組合員（以下「所属員」という。）の相互扶助の精神に基づき、所属員のために必要な共同事業を行い、もってその自主的な経済活動及び営業の健全な発展を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的とする。

### 3. 会員

各都道府県ごとに設置されている計51組合  
（所属するホール店舗数は9,303ホール（2018年10月末現在））

## 一般社団法人 日本遊技関連事業協会（略称：日遊協）

### 1. 設立

1989年（平成元年）7月3日

### 2. 目的

本会は、遊技業、遊技機製造業、遊技関連設備製造業その他の遊技業に関連する各種事業（以下、「遊技関連事業」という。）相互の連携を図り、遊技関連事業の適正な運営を確保して、国民的な娯楽産業としての遊技業の社会的な地位の向上と健全化を推進し、もって善良の風俗と清浄な風俗環境の保持及び公共の安全と秩序の維持に寄与することを目的とする。

### 3. 会員

正会員419社（正会員339社（うちホール114社）、賛助会員80社）、  
団体会員5団体（2018年11月15日現在）

# 1. パチンコホール関係団体の概要

## 一般社団法人 日本遊技産業経営者同友会（略称：同友会）

### 1. 設立

1994年（平成6年）10月21日

### 2. 目的

ぱちんこホール経営者及び遊技関連企業経営者の親睦と啓発を図り、併せて遊技産業の近代化、合理化及び健全化に資するための調査及び研究を行うとともに、大衆消費者の豊かな余暇生活の実現と社会貢献に寄与することを目的とする。

### 3. 会員

147社（ホール：60社、賛助会員：87社）

## 一般社団法人 余暇環境整備推進協議会（略称：余暇進）

### 1. 設立

1999年（平成11年）7月16日

### 2. 目的

業界の環境を整備し業法の制定を図る。

### 3. 会員

97社（ホール正会員：38社、その他正会員：59社）

# 1. パチンコホール関係団体の概要

## 一般社団法人 パチンコ・チェーンストア協会（略称：PCSA）

### 1. 設立

2002年（平成14年）3月25日

### 2. 目的

（1）パチンコを大衆娯楽として産業化し、公明正大に広く社会に貢献する。

（2）パチンコ・コンシューマー・ドクトリンを実現する。

（3）社会に貢献できる人材の育成と働く人々の労働環境の整備を実現する事を通じて、国民の豊かな余暇生活を早期実現する。

### 3. 会員

60社（正会員（ホール）：22社、賛助会員：37社、特別会員：1社）

## 2. パチンコホール業の概要

～ホール（営業所）数・遊技機設置台数・市場規模・参加人口～

### ホール業界の概要 ～全国の営業所数及び遊技機設置台数～

暦年		ホール （営業 所）数	遊技機設置台数				市場規模 （億円）	参加人口 （万人）
			ぱちんこ	スロット	その他	合計（台）		
2013	（平成25）	11,893	3,009,314	1,602,148	252	4,611,714	250,050	970
2014	（平成26）	11,627	2,954,285	1,643,290	244	4,597,819	245,040	1,150
2015	（平成27）	11,310	2,918,391	1,661,562	244	4,580,197	232,290	1,070
2016	（平成28）	10,986	2,833,133	1,691,876	244	4,525,253	204,180	940
2017	（平成29）	10,596	2,749,532	1,687,084	225	4,436,841	195,400	900

ホール（営業所）数及び遊技機設置台数 出典元：警察庁「平成29年における風俗環境の現状と風俗関係事犯の取締り状況等について」  
市場規模及び参加人口 出典元：公益財団法人 日本生産性本部「レジャー白書2018」

**業界カバー率**（ホール関係5団体に所属する数の割合：全日遊連調べ：2018年6月現在）

全国のホール（営業所）数：10,411ホール

ホール団体所属（※）ホール（営業所）数：10,042ホール **カバー率：96.5%**

※5団体のいずれか1つ以上に所属するホール数

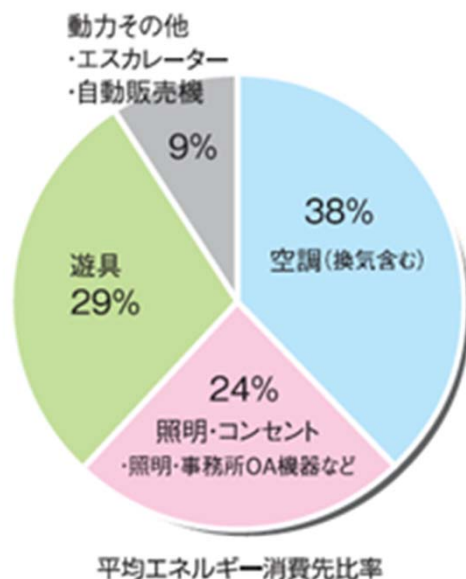
### 3. パチンコホールの用途別エネルギー消費割合の例

#### ■ エネルギー種別

ホール営業所内において**使用されるエネルギーの大半は電気**である。寒冷地など一部では他のエネルギー（ガス、重油、灯油など）を使用しているケースがあるものの、全体に占める割合は僅かとなっている。

#### ■ ホールにおける用途別エネルギー消費割合の例

ホールにおけるエネルギーの消費割合は、営業所の大小や設備の省エネ度合いにもよるが、概ね「**空調**」「**照明**」「**遊技機**」「**その他（事務所OA機器、エスカレーターなど）**」に分類される。

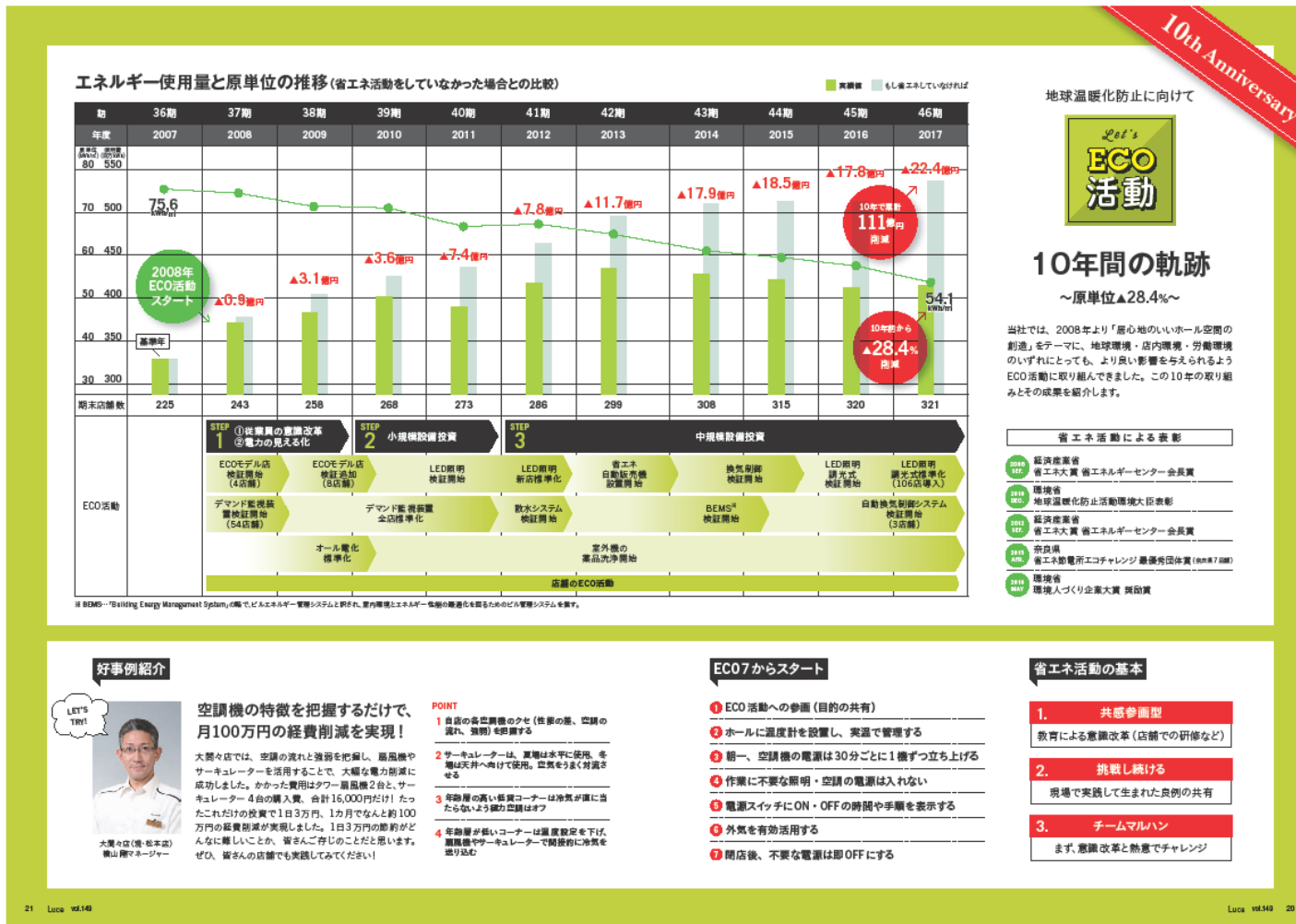


出典元：東京都環境局 東京都地球温暖化防止活動推進センター  
「遊技施設(パチンコ店・スロット店)の省エネルギー対策」(2011年3月)

# 4. 省エネルギー対策 ～ホール企業の具体的取組事例～

## ホールの取組事例①

### A社 社内報「エネルギー使用量と原単位の推移（省エネ活動をしていなかった場合との比較）」（2018年夏号）



# 4. 省エネルギー対策 ～ホール企業の具体的取組事例～

## ホールの取組事例②

### B社（「エコホール宣言」ホームページから抜粋）

「エコホール宣言」ポスターダウンロード

省エネノウハウ集

- 4Q～6月の省エネ
- 7月～9月の省エネ
- 10月～12月の省エネ
- 1月～3月の省エネ

検索・印刷

印刷・印刷会

省エネ実践例(1) 株式会社山本が取り組む、無理なく「電力削減」

省エネ宣言を達成し、削減が求められるなか、2007年3店舗のパソコン店を閉鎖する(株)山本(東京都武蔵野市)では、平均的な省エネ、電気削減量(CO2)の削減に努め、さらには、削減量の約20%削減(パソコン店閉鎖等)を達成すると、コストを下げながらも、削減した分を約10%以上の電気代削減に成功しました。(株)山本の具体的な取り組みを紹介します。

1. 配電盤パネルの見える化

※閉店時の一斉電源オフはVVG

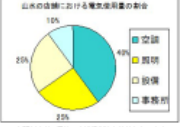
従来は、閉店前の準備の時間帯から店内設備等の電源を一気に入れていました。このため、実際は必要のない箇所の無意味な電力消費等の電力が無駄に使われていました。そこで、閉店前の作業手順を見直しながら、電源オフの時間帯を閉店設備等によって閉店前「15分前」「30分前」「15分前」の3段階に分け、配電盤パネルにこの3段階の違いを色分けルールを設けています。さらに、電源オンオフの一斉、マニュアル、配電盤を閉めておくことで、省エネ効果が20%程度行っても削減効果が1.5倍分かります。例えば、点検時間がかかる急設備等は閉店1時間前、遅延は閉店15分前以上に設定しています。



配電盤で、店舗の電源投入時(06:30～11:00)によって段階的にON、OFF

2. 室温はお客様の体感温度に合わせて快適空間

パソコン店の電力消費割合で最も高いのは空調で、店舗全体の5割近くを占めています。したがって、とくに夏場のエアコンの温度設定は、電力消費に大きな影響を及ぼします。お客様へのポイント、業務、働いている店内スタッフにお客様とは、体感温度が違ふことです。お客様に快適に感じてもらいたい。山本では店内5～6箇所ほどに温度計を設置し、こまめにチェック(記入)して頂きます。店舗の快適な室温は、26℃前後とされており、温度計のチェックは欠かせません。一般的に、パソコン店は冷やしすぎが多いようです。



上記割合は、店舗で設備等の立地等によっては変わります

温度計を設置する高さも、お客様が産る体感(高さ)を考慮しましょう。電力会社は、通常の温度設定を1℃下げると、電力消費量は10%上がる、としています。同社では、各エアコンに番号を付け、番号パネルの名にエアコン電源と電源投入時間のグループ分け一覧を添付しておくことで、閉店前の一斉電源オフも、的確的な電源投入で省エネを図っています。



エアコンの番号に番号を付けて電源投入管理

3. デマンド監視装置の導入

電気使用料金の内訳は、デマンド基本料金+使用電力料金(従量料金)で構成されます。デマンド量は、30分間に使用した電気使用量を2倍にした数値で、これが基本料金となります。このデマンド量が30分間で一度でも超過すれば、基本料金が1年間、引き上げられてしまいます。そこで、このデマンド量を越えないように業務、対策するシステムが、デマンド監視装置です。同社では、2005年6月に4社のデマンド監視装置を導入し、電力の使用状況を24時間モニターでき、目標のデマンド量が越えそうになると、複数の警報者に「デマンド警報」のメールが響きます。



エアコンの電源投入時監視プログラムが、メール

警報が響いた場合、営業にさしつかえのない箇所の電源を一時的に消します。デマンド量の最大は2%の場合、異常の高い異変に起訴するので、この期間が抑えられれば、電気の基本料金は抑えられます。同社では、デマンド監視装置の導入や前述の配電盤パネルの見える化などにより、2007年の電気使用量は11.7%(04年比)削減しました。



デマンド監視装置のモニター画面

項目	前年度実績	目標値	達成率
削減率	11.7%	10%	117%

## 配電盤パネルの「見える化」

## お客様の体感温度に合わせた空調

## デマンド監視装置の導入



# 4. 省エネルギー対策 ～業界全体での取組事例～

## 業界団体の取組事例①

### 「エコホール宣言」周知用ポスター

(環境自主行動計画目標に達成に向けた取組：2010年)



## 4. 省エネルギー対策 ～業界全体での取組事例～

### 業界団体の取組事例②

#### 東日本大震災に伴う節電及び省エネ対策周知ポスター（2011年）



夏のピーク電力カット  
**15%以上**

 **エコホール宣言** この度は大変ご迷惑をお掛け致します。詳しくはホームページにてご確認ください。  
<http://www.p-setsuden.jp>

**震災に伴う 省エネ対策**

ホールの3大電力(空調・照明・島関連設備)の省エネにご協力をお願いします

**営業前**

- 店内照明は、作業に必要な所以外、開店直前まで点けない。
- 機械台、補給関連設備、各種島設備、カードユニット、ナンバーランプ、ジェットカウンター等の設備の電源は、開店15～30分前まで点けない。必要なら作業手順を変更する。
- ホールのエアコンは開店まで同引き運転する。  
(設置エアコンの4分の1から2分の1は止めておく)

**営業中**

- ネオン、看板、電光掲示板、ワーチライト、スポットライト等宣伝用の照明は点けない。
- 屋外広告として使用している道路看板等についても同様に電気を消す。
- タイマー照明のタイマーを切る。
- ホールの照度を下げすぎない程度に、店内の照明を同引く。  
(ハロゲンライトや景品カウンターのスポットライト等)
- 自動販売機の照明を切っていない場合24時間OFFモードにする。
- エアコンはホールの温度計をみて調整する。風量での調整を多くし過剰な温度設定で使用しない。

**営業後**

- 店内照明は作業に必要な所以外は閉店してからすぐに切る。
- 閉店後の作業や整備が終了した場所から、防犯用以外の照明を切っていく。
- 機械台や補給関連、カードユニット、島設備、ナンバーランプ、ジェットカウンターといった設備の電源は閉店後30分以内を目安に消す。必要なら作業手順を変更する。
- ホールのエアコンは同引いて運転させる。  
(設置エアコンの4分の1から2分の1は止めておく)

**その他**

- 各組合から要請されている自業等の内容をしっかり守りましょう。
- エコホール宣言の省エネの取り組みを参考にして下さい。

[http://eco\\_hall5.zennichiyuren.or.jp/](http://eco_hall5.zennichiyuren.or.jp/)

## 5. 全日遊連における低炭素社会実行計画

### ■全日遊連「低炭素社会実行計画」における目標

全日遊連では、2007年9月に「環境自主行動計画」、2013年1月に従来の取組を継続する形で「低炭素社会実行計画」を策定している。現在、ホールが使用する電気使用量から換算したCO<sub>2</sub>排出量を、2007年度比で2020年度までに18%、2030年度までに22%削減することを目標として掲げている。

**各ホール企業及びホール店舗の省エネ努力により、**  
**CO<sub>2</sub>排出量は2016年度時点で2007年度比25.3%減**

